

「2026 年度 理科教育振興助成」応募申請の留意事項

「募集要領」および「本留意事項」を参照のうえ、下記事項に従って応募申請してください。

1. 応募方法

応募は財団ウェブサイトから電子申請にて受付けます。

「研究助成一覧」ページからマイページを取得のうえログインし、「新規申請」ボタンを押すと助成プログラム選択画面となりますので、該当プログラム「小学校理科教育振興助成」「中学校理科教育振興助成」「高等学校理科教育振興助成」を間違いのないよう選択してください。

選択後のページには、注意事項の記載、応募関連資料（フォーマット）の添付（「研究助成一覧」ページのものと同一）があります。同ページにある「上記の注意事項を確認し応募します」ボタンを押すと応募申請画面となりますので、必要事項の入力、応募資料の添付、送信をしてください。

応募資料（フォーム）は助成プログラムによって異なりますので、必ず 2026 年度の該当助成プログラムの書式を使用してください。

2. 応募申請画面について

応募申請画面の各項目を基準に従って入力ならびに応募資料の添付をしてください。

【各項目の記載について】

（1）応募者

氏名、勤務先、職名、勤務先住所、郵便番号、電話番号、E-mail については、採否通知や納付手続き等に使用しますので正確に記載してください。

（2）申請題目

（3）主な共同研究者

（4）実施計画（PDF ファイル添付）

（5）推薦者（推薦書 PDF ファイルを添付）

（6）添付文献等（PDF ファイル添付）

（7）応募目的

3. 応募資料について

（1）実施計画

- ・下記の項目順に日本語（11 ポイント）で記載し、PDF 形式で添付してください。
- ・Ⅰ～Ⅲを No.1～No.3（3 ページ以内）に、Ⅳ～Ⅴを No.4（1 ページ）に記載してください。
スペースを有効に活用し、なるべく詳しく記載してください。

- ・各用紙に氏名欄がありますので、必ず記載してください。
- ・図表やイラストの挿入、カラーの使用は可能です。
- ・書式は変更しないでください。また、ページ数は厳守してください。

【項目】

I. 申請課題の背景と目的

必要性、選んだ理由など

II. 申請課題の具体的な計画・方法

- ・共同研究者がおられる場合は役割分担についてご記載ください。
- ・安全性や倫理面で対策や措置を講じた場合、その内容を具体的に記載してください。

III. 申請課題の特色

従来との違い、期待される効果など

教育への貢献/生徒への還元、科学研究・技術開発分野への貢献など

IV. 助成金の使途内訳および金額

- ・助成金 50 万円の使途内訳と金額について、「II.申請課題の具体的な計画・方法」の内容と連動して記載してください。
- ・使途内訳欄には、使途・品目名、数、人数などを具体的に記載してください。
- ・助成金は応募された研究・実践に直接関連する費用、例えば実験等の器具・機器（PC・タブレット等を含む）・設備、ソフトウェア、教材・参考図書、旅費、研究会等参加費、外部講師謝礼等への使用が可能です。が、本実施計画書において支出の必要性・意義が分かるよう、本ページまたはII.申請課題の具体的な計画・方法 において説明をしてください。

V. 被助成歴

- ・公的助成、民間助成の両方を記載してください。助成を受けていない場合は「なし」と記入してください。
- ・助成が3件より多い場合は、直近の助成から3件をご記入ください。

(2) 推薦書

推薦者の押印のある推薦書をPDF形式で添付してください。

(3) 添付文献等

- ・応募者の公表論文、学会発表資料、研究発表会資料があればPDF形式で添付してください。実施計画に関する補足・参考資料も添付可能です。必ず掲載元や発表先などの公開情報（出典）が分かるようにしてください。
- ・添付論文・資料がある場合には、実施計画書において言及してください（詳細な説明は不要です）。
- ・添付文献等は1つに限ります。2つ以上添付されている場合は1つ目のみ受け付けます。
- ・添付の際、PDFファイルがパスワードで保護されていないことを確認してください。保護されている場合、助成申請システムに添付できません。

以上